

特集②

秋の講座

「江東区の内部河川と荒川、隅田川」受講生募集

講師：土屋 信行 (公財)リバーフロント研究所 技術参与
栗原 修 (江東区文化財主任専門員)
久染 健夫 (中川船番所資料館次長)

[講座番号220424]

荒川と隅田川の関係、そして荒川放水路が出来るまでの20年間の様々な出来事を知るとともに、江戸の運河形成、江東区の内部河川の発展について学びます。講座では、日本橋周辺や江東区の掘割を歩いたり、実際に荒川、隅田川、そして内部河川を船で巡ります。

■10/26～3/15 水曜・7回・13:00～15:30 ■定員:25名

※①13:30開始になります。

■受講料・教材費:4,000円・300円※②見学船代別途徴収

カリキュラム

- 10/26 (水) 荒川と利根川について～荒川・隅田川の変遷～【講義】
- 11/2 (水) 知水資料館見学→岩淵リバーステーション→ロックゲート→番所橋船着場(乗船)見学【外出】
- 11/30 (水) 江戸の運河形成～堀留川・日本橋川・亀島川・新川・三十間堀～【講義】
- 12/14 (水) 日本橋本町周辺の日本橋川と堀留川跡周辺を歩く【外出】
- 1/18 (水) 深川の掘割形成～小名木川・仙台堀川・油堀～【講義】※①
- 2/8 (水) 深川南部の掘割を歩く【外出】※①
- 3/15 (水) 江東区の内部河川から隅田川へ(乗船)【外出】※見学船代別途徴収※②

【お申込み・お問合せ】東大島文化センター TEL03-3681-6331 [申込み期間:9/24(土)まで]



左:11/2に乗船する「あらかわ号」
提供国土交通省 荒川下流河川事務所
右:3/15に乗船する「WATERWAYS号」

特集③

こんな活動も しています! 小名木川リバーウォーク

東大島文化センターでは、地域のグループや事業所の協力の元、大島地域の河川や自然を理解する機会を次世代のこどもたちに提供し、地域に愛着をもつきっかけづくりを目的とした「小名木川リバーウォーク」という事業を行っています。主に小学3～4年生が参加しています。この事業をきっかけに豊かな水辺に囲まれた江東区をもっと好きになってもらいたいです。

参加者数:平成27年度 7校 451名、平成28年度 8校 580名(予定)

【協力】

- ・中川船番所資料館
- ・小名木川リバーガイド倶楽部 (おりーぶ)
- ・自然ゆたかな公園を作る会
- ・国土交通省荒川下流河川事務所
- ・KOKOPELLI+



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
東大島文化センター

電話 03(3681)6331

FAX 03(3636)5825

〒136-0072

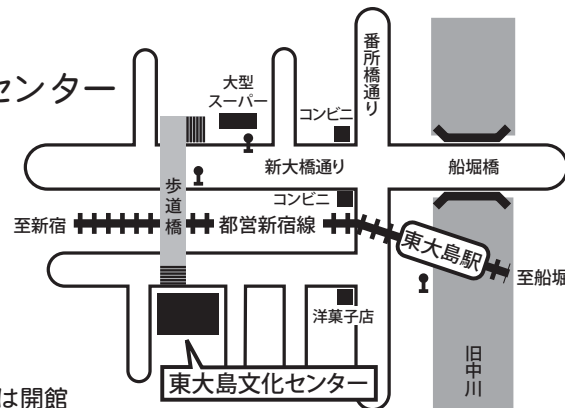
江東区大島 8-33-9

【交通】都営新宿線「東大島駅」

大島口より徒歩5分

【休館日】第1・3月曜日休館

ただし国民の休日にあたる場合は開館



東大島文化センター 9 Sept. ニュース

リバー特集号



- ①×リバーツアー参加者募集
- ②×水辺コラム/江東囲碁大会募集
- ③×連載「ぶらり小名木川」
- ④×講座募集/リバーウォーク事業紹介

特集①

リバーツアー River tour

リバーツアーは、「河川から見た江東区」をリバーガイド認定者が屋形船でご案内する小さな船旅です。

今月号では
これからの季節にぴったりの
リバーツアーを2便ご案内いたします。

11/13 回

- 1便 13:00～出航
- 2便 15:40～出航



東京湾をめぐる船旅

- 【1便】深川吉野屋 (集合)→東京ゲートブリッジ→豊洲 (船上から市場見学)→深川吉野屋 (解散) 大人 2,100円 / 小・中学生 1,800円
- 【2便】深川吉野屋 (集合)→東京ゲートブリッジ→レインボーブリッジ→お台場→豊洲運河→深川吉野屋 (解散) 大人 **2便満席** 小・中学生 2,800円

10/2 回

- 1便 9:30～出航
- 2便 12:30～出航



日本橋・築地・豊洲 ～江戸東京の市場をめぐる船旅

しめきり間近 9/22 まで

- 【1便】豊洲芝浦工業大学横乗船場 (集合)→晴海運河→船上より豊洲市場見学→東京湾→隅田川→船上から築地市場見学→日本橋川→日本橋船着場 (下船)→日本橋北詰 (解散)
- 【2便】日本橋北詰に集合する逆コースです。 大人 2,100円 / 小・中学生 1,800円

※荒天・潮位等により中止・コースの変更や遅延が発生する場合があります。

【お申込み・お問合せ】

アイオー・トラベラーズ(株) ホームページの申込専用フォームで (先着順)
ホームページ ★11月便 <https://io-travelers.jp/river1113> [11/3(木・祝)しめきり]
★10月便 <https://io-travelers.jp/river1002> [9/22(木・祝)しめきり]

インターネット環境のない方は、東大島文化センター [03-3681-6331] にお問合せください。

「旧中川と荒川、どちらが自然？」

KOKOPELLI+ 代表 寺田浩之

9月となりこれからのよい秋へと季節が移り変わります。今年は台風の動きが奇怪であったり、雨の降り方も極端であったり、まさに異常気象という夏でした。この時期耳にする大規模な河川洪水のニュースは、残念ながら例年の恒例となりつつあります。

東大島の街を流れる川という旧中川ですが、ここはまさに洪水対策によって生まれた新しいタイプの川と言えるでしょう。

その上流と下流が完全に排水機場で水位が管理され、合流する運河も同様に水位の管理がされているため、洪水の心配は少なく、さらに潮による干満の影響も受けません。そのため、川のすぐそばまで近づき自然観察やハゼ釣りが可能です。

逆に、お隣を流れる大きな川「荒川」は大雨が降れば濁流が岸近くまで溢れ、自然の荒々しさを感じさせる川です。ほとんどの方が、荒川は昔から流れる自然河川、旧中川は最近できた人工河川という認識を持たれていることでしょう。

しかし、実際はその真逆です。今から130年前までは、そもそも皆さんがよく目にして荒川の形は存在しませんでした。1930年に工事が完成し、今の形となった完全なる人工的な放水路なのです。逆に旧中

川はというと、もともと中川という埼玉県に源流を持つ自然河川だったのですが、荒川放水路の工事に伴い河川が分断された残りとして旧中川という名前で現在の形で存在しています。

そんな荒川と旧中川では、魚やカニ、鳥も頻繁に引き来しています。ボラなどはロックゲートから船と一緒に入って来ますし、カニは陸地を歩いて移動してきます。

最も上手に2つの河川を利用しているのが鳥たちです。カワウやサギは潮の干満や濁流で魚が採りにくい時は旧中川へと入ってきます。またカモメやカモは冬に荒川が風で荒れるとすぐに旧中川へと集まりま

す。自然のようで人工的な荒川放水路と人工的なようで歴史のある旧中川。この二つが隣接するこの地域は、単に川の違いを楽しむだけでなく、今後の自然との付き合い方を学ぶ上でとても重要な場所とも言えるかもしれません。

カワウ



小名木川リバーガイド倶楽部
会員 清水 健二

町内(森下五丁目)の墨田工業高校について

私が住んでいる町内にある都立墨田工業高等学校(以下墨工(すみこう))は江東区に所在するのに何故「墨田」工業高校なのか?それは明治33(1900)年に本所区本所林町(現:墨田区菊川1丁目)に創立され、府立職工学校と称し、関東大震災後、昭和2(1927)年に小名木川北側の大富橋と新高橋の間の現在地に移転しました。昭和18(1943)年に都政施行に伴い創立場所に因(ちな)んで墨田工業高校と改称しました。

昭和48(1973)年に墨工の校庭が拡張された際に墨工、深川一中、森下五丁目町会で共同使用するための協定書を結び、町内の盆踊り、運動会で使用したり、現在は夏休みラジオ体操、防災訓練、野球、サッカーの練習等に使用しています。

我が家は墨工の近所でパン、おにぎり、菓子、牛乳、アイス、清涼飲料等を商っており、部活帰りの墨工生が多く利用しました。特に墨工祭(文化祭)、体育祭(鳳凰、白虎、玄武、麒麟、青龍のヤグラを生徒が建て5団で競う)の打上げには大量の飲物の注文があり大忙しで家族総出で対応したものでした。私の両親が店を切り盛りしていたので墨工生から「ジジババ」の店と呼ばれ親しまれていたことが今では懐かしい思い出となりました。

去年、平成27(2015)年11月に大村智北里大学特別荣誉教授がノーベル医学・生理学賞を受賞しました。大村先生は山梨大学を卒業してから墨工定時制の物理・化学の教師となり、昭和33(1958)年から5年間に在籍して、昼間は東京理科大学大学院で勉強して卒業されました。先生がノーベル賞を受賞されましたことは墨工の卒業生、在校生、地域住民にとりまして大変喜ばしいことでした。

墨工の生徒達は小名木川を航行する通運丸、蒸気船、水上バス、木場へ向かうイカダ、石炭、石油、化学肥料、塩、砂糖、米、小麦粉等を運ぶ伝馬船(てんません)、荷足船(にたりぶね)、達磨船(だるません)を校舎の窓や校庭から眺めていたでしょう。



【小名木川から見た墨工の校舎・校庭】



【墨工発祥の地】碑 墨田区菊川一丁目

江東 白と黒の熱き戦い 参加者募集中 囲碁大会

名称を新たに「江東囲碁大会」を開催します。今回新しく、個人戦にシニアクラスを設けます。各クラスの優勝・2位・3位のチーム・入賞者には賞状および盾を贈呈します。

詳細につきましては、東大島文化センターまでお問い合わせください。

団体戦 10/8(土) 12:30～

- 1チーム3名。勝敗に係わらず3局対戦できるチーム。(先着順受付中)

個人戦 10/9(日) 9:30～

- 棋力別クラス・シニアクラス(75歳以上)(先着順受付中)
- 勝敗に係わらず4局対戦できる方。

